

# ゆたかな労働と 生活の場をめざして

発行 社会福祉法人ときわ会 〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地  
URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ  
だより  
No. 456

あさやけ作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-1564
サングリーン	小平市小川町 1-943 番地	TEL 042-345-1585
あさやけ鷹の合作業所	小平市小川町 1-411 番地	TEL 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町 1-944-30 番地	TEL 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町 2-21-17 番地	TEL 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町 5-2-11 番地	TEL 042-346-0472
地域生活支援センター「あさやけ」	小平市小川東町 4-2-1 番地	TEL 042-345-1741
	小平元気村おがわ東 1 階	
共同ホーム一歩	小平市花小金井 7-2-24 番地	TEL 042-349-0305
あさやけ風の作業所	小平市中島町 3-8 番地	TEL 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町 1-497-13 番地	TEL 042-313-6269
共同ホームさらさ	小平市小川東町 5-2-12-1 番地	TEL 042-313-2217



あんずの仲間たち

あさやけ作業所

仲間紹介

ひとりひとりが太陽



仕事も趣味も手を抜かない

蟹山 陽子さん  
(サングリーン)



娘がさらさらに入居して、この半年はあつという間でした。多くの方が、さとみさん(の調子)はどう?と尋ねてくださいます。お陰様で、入居前の生活リズムがほとんど変わることなく過ごせているように思います。

五月、さらさらでの初四泊を終えて帰宅した娘が、玄関でふうつとため息をついた時には、しんみりクスツとなってしまいました。新生活、頑張ってくれているのだなと感じましたが意外でもありません。娘は性格的にマイペースなうえ、家から離れる体験も多く積んできたので、親としてはホームでの宿泊もさほど変わらないだろうと考えていたからです。これまで、土日にはガイドヘルプ利用しての外出が多かったのですが、ホームでの暮らしが安定するまで外出の機会を減らして様子を見ました。

親のほうはというと、娘が家にいないのに声が聞こえた気がしたり、薬を飲ませる時間だと焦って用意したり。今でも時々そんなふうです。週末に帰って来ることは同じなのに、ショートステイに送り出すことと、親元から離すということ、やはり違うようです。主人は金曜日にはお菓子と飲み物をきっちり用意して娘の帰宅を待ちます。

娘が共同ホームさらさらに入居して

上田 幸子

週四日睡眠時間が確保でき、一人での入浴ができることで私は体力維持ができています。

金曜日、娘を迎えると連絡帳をまとも読みし、体調を把握し、週明けに良いコンディションで送り出せるよう、予定を立てていますが、リズムが今一つで月曜を迎えた時には、気が気ではありません。夜勤や早朝の職員さんのご苦労を思うとただただ感謝です。体調管理についてのことや生活上の安全面のことも、一緒に話し合えたり提案をいただいたり助けてられています。作業所の職員さんとホームの間でも、それぞれ親身になって細やかなところまで連絡を取り合っていたらいいと思います。衣類や日用品を届けるために時々さらさらに行きます。さとみが、こちらの見ながらもゆったりとホームに馴染んでいるようで嬉しく思います。他の入居者の皆さんや職員の皆さんとの時間を積み重ね、良い暮らしを築いていってほしいです。今度、さとみの弟や妹と一緒に訪ねてみたいとも思います。

サングリーンの虹班・下請け作業で、紅一点の蟹山陽子さん 笑顔がとても似合う元気でハキハキとした素敵な女性です。九月に手を骨折してしまひ、しばらくお休みしていましたが、十月には虹班に元気に戻って来てくれました。骨折が完治して、その後日々下請け作業・原反折りなど頑張ってくれています。女性の下請けメンバーは現在、蟹山さん一人です。「女性メンバーさんが来てくれると嬉しいんですけど...たまに寂しいです」と話してくれました。そんな蟹山さんが今の気持ちを綴ってくれました。

現在、サングリーンの月・火・水・金と週四回通所しています。毎日楽しく、有意義に働いています。私の所属は、虹班下請け作業です。主にダイレクトメールの作業と原反折り作業などを皆と一緒に働いています。私は、封入作業が好きです。OPPの下まで、入れるのがコツです。丁合いは、紙面一枚一枚重ねていく作業ですが、いつも早く、丁寧にと心がけています。原反折りは、週に二回程しているのですが、ダイレクトメールの作業よりは疲れます。原反を折る作

業は、上手に折れる様になるまでには時間がかかりました。サングリーンで働いていて、嬉しいですね。そして、私の趣味はレース編みです。十代の頃から始めて、今までで大きい物や小さい物を合わせるのと、三千点くらい作品を作ったと思います。レース編みの本を見ながら、一針一針編んでいくのが、何よりも楽しみです。バイナツプルモチーフや方眼編み、ネット編み等があります。私は、ダイエーでレース糸を買ってきて、編んでいます。週三日、午後三時から五時まで二時間ずつ、一年を通して暑い日も寒い日も編んでいます。現在は、二〇一八年のアートフェスティバルに出品する為のテーブルセンターを制作中しています。大きな作品になると、三ヶ月から半年かかるのでとても大変ですが、出来上がりを楽しみに編んでいます。午前はサングリーンで下請け作業をして、午後は家でレース編みをする。毎日とても充実しています。





**アンパンが人気です  
—手作りパンに挑戦中—**

あさやけ作業所あんず班



いるメンパーも多くいます。パンだけではなく、焼き菓子の試作・研究も同時に進めています。今年、マドレーヌを新商品として売り出しました。マドレーヌを作ろうと思ったきっかけは、今よりサイズの大きいマフィンを作ろうと思ひ、型を購入し作ったところ、型の素材が薄すぎてベツタンコになってしまいました。その失敗作を見たときに「あ、マドレーヌに似てる。マドレーヌ、新しく作ってみようか」と。その出来事が新商品へのスタートでした。数回の試作を加え、納得のいく商品ができあがりました。一個一〇〇円（プレーン以外は一二〇円）で購入できるという事で、売れ行きも好調です。バターをたっぷり使ひ、しっとりとした口当たり仕上げました。ぜひ一度ご賞味下さい。

現在、あんず班は毎週月・水の十二時から小平市の福祉事務センターで販売を行っています。また、なかもち図書館の中に



あるC.A.Z.E.C.A.F.E.なかもちにも焼き菓子やパンを納品しています。その他には、市役所販売や地域のお祭りなどでもパンやお菓子を販売しています。そして、今年から、新たに小平市のムーちゃん広場（JAむさし）の店舗にも焼き菓子（シフォンケーキ、ワッフル、マドレーヌ）を納品する予定です。を置いて頂けることになりました。今まで以上に地域の皆さまにあさやけの商品を知ってもらえるチャンスだと思ひ、これから楽しみです。近くまでお越しの際は、ぜひ覗いてみて下さい。

シフォンケーキや焼き菓子の注文は随時受け付けております。ご注文お待ちしております。今後とも、皆さまに喜んでもらえる商品を作っていきたいと思ひています。こんなパンが食べたい、「こんな味のシフォンケーキはどうかな」等のご意見もぜひお待ちしております。



日頃より、あんず班のパン・焼き菓子をいただいたき、ありがとうございます。おかげさまで、あんず班立ち上げから今年で八年目を迎えることができました。みなさまに喜んでもらえるよう、日々研究・試作を続けているところで

その中で、今年度は一つ大きな挑戦を行いました。今までは、冷凍パンを購入し、作業所で焼いて販売をしていましたが、材料費の高騰やあんず班の利用者の皆の技術向上により、作業内容の物足りなさを感じる事も多くなり、パンを一から作ることにしました。しかし、パン生地はとてもデリケートな物で、温度・湿度調整、発酵・焼成時間など細かい調整が必要です。「パンが硬い。発酵時間が長すぎるのか」「膨らまない。発酵が上手く出来ていないのか」等、その都度原因を考え、何度も何度も試作を行いました。

既製品から手作りに変わるとい

うことで、買って下さるお客さんの抵抗はないか。初めは心配でしたが、実際始めてみると、手作りにすることで値段が安くなり手に取りやすくなったという声をたくさんいただきました。今では、「次は、〇〇パンが食べたいから持ってきて」とリクエストをして下さるお客さんもいます。中でもあんず班は大人気で、販売時にはすぐ売り切れてしまいます。ぜひ見かけたら一度食べてみて下さい。

メンパーの作業内容も増え、毎日忙しく作業しています。新しい商品でも作業自体は、計量する・混ぜる・具を乗せる等、今までの作業とほぼ同じのため、混乱することなく行うことが出来ています。また、パンを丸める作業は皆お気に入り（パンを混ぜる機械）から生地を取り出すと、まな板と包丁、計りを出し、パン生地を計量する準備をしたり、職員の近くに立ち、丸めるのを待っているメンパーもいます。また、オープンを何度も覗き、焼き上がりを楽しみにして





## 社会福祉法人ときわ会 2017年実践交流会の報告

小平元気村おがわ東の会議室を会場に12月9日（土曜日）にときわ会の2017年度の実践交流会を行いました。実践報告では、はたらくことのやりがい生きがいをどう支えるかをテーマに五作業所からレポートが発表されました。また、事業報告ということで今年5月にオープンした「共同ホームさらさ」の半年間の活動と相談事業所の「地域生活支援センターあさやけ」の活動報告がされました。講演は、就労継続支援A型事業所のことが新聞でも取り上げられていることもあり、町田市でA型事業所2か所を営んでいる一般社団法人ディーセントワールド代表理事の天野貴彦氏に講演をしていただきました。

### 参加した職員から

#### 神原明子（あさやけ作業所）

あさやけ作業所に事務職員として就職し約1年が経ちました。今年度のテーマ「はたらくことのやりがい生きがいをどう支えるか」、それぞれの発表を聞いて共通して感じたことは実際に利用者さんの支援に携わっている現場の職員は皆丁寧に、きめ細かく利用者さんと向き合っている、ということです。発表内容から、利用者さんのさまざまな障がいの特性を踏まえどうすれば仕事に対してやりがいややる気を出せるか、また実際に作業が行えるか、結果として利用者さんのお給料につながれるか、真剣に向き合っているからこそ悩み、疲れ、発見し、喜びを感じている様子がよくわかる発表でした。さらに、発表の中から現場が直面している問題点を知ることで現実を見ることができたと感じています。

先日あさやけ作業所の利用者さんが、「(世の中には)働きたくても働けない人がいます。自分にはたらくことが出来てうれしい」と言っていました。ある利用者さんは、「仕事が忙しい」と言いながらもきらきらと目を輝かせながら自分が行っている作業の説明をしてくれました。そんな出来事を思い出し、シンプルで純粋なそれらの想いを大切に、また、利用者さんがずっと仕事を続けられるように、職員として意識して働かなければ、と再確認した実践交流会でした。

#### 齊藤洋介（サングリーン）

講演は障害のある方がパンの製造販売で最低賃金を得ている就労継続支援A型事業所での取り組みでした。事業所を紹介する資料には職員の仕事として「働く職員には、売り上げアップと福祉サービスの向上の二兎を追うことが常に求められます」とあります。収支事業を継続させるには厳しい状況にもさらされているとのことですが、利用者が仕事で力をつけてゆく喜びは大きいようで「職員の方が得ているもの」を述べられていました。

実践報告では身体の障害がありながらも自助具（治具）で仕事に入っている事例、利用者が自主製作品作りに打ち込めるまでになった過程を聞き学びました。支援の実際は称揚されるような成果だけではなく、できなかったこと上手くゆかないことの蓄積でもあります。働くことを通じて利用者のやりがいや生きがいにどれだけ繋がっているのか、の問いに明瞭に答えるよりも言葉を探してしまう自分があります。労働と工賃、くらしの豊かさ、地域社会にあることはこれからもテーマであり続けます。



## 2017こげらコンサートが 盛大に開催される



こげらコンサートが12月10日（日）ルネこだいら大ホールにて1,000名を超える来場者で大盛況に開催されました。

こげらコンサートは1994年に開催してから今回で8回目、障害者週間のつどい実行委員が行う催し物です。障がいを持つ人が今の自分の気持ちを朗読したり、障害者福祉が今より遅れていた時代に我が子を育てた親御さんが当時の体験や思いを朗読するなど、障がいを持つ人やその親の思いが伝わる内容のこげら合唱団の合唱でした。また、友情出演して下さった「パーカッションクラブのだだっ鼓」や「小平青少年吹奏楽団」の演奏、太田真季さんのゲスト出演などもありました。

コンサート全体を通して、出演者と客席とスタッフの気持ちが一つになることが出来たすばらしいコンサートだったと思います。今後もこのようなすばらしいコンサートを小平市の一つの財産として続けて行ければと思います。（小山靖夫）

### こげら合唱団の皆さんから

今回のコンサートで歌った曲が13曲で、今までのコンサートの中で、曲数が一番多かったコンサートになってしまいました。チケットも1250枚売れました。当日券が130枚売れたのにはビックリしました。お客様、全関係者の皆様に感謝を申し上げます。（柳原昭三）

こげら合唱団は他のどこにもない合唱団です。とにかくみんなで歌う。こんな合唱団があることを伝えかけた。いい舞台を創りたい一心で厳しい指導もしてきました。それにみんな一生懸命応えてくれました。打てば響くよう。それがうれしい。これからも一緒にいいものを創っていききたい。

（合唱指導・指揮／玉山マオ）

すばらしいコンサートに関わらせていただき感謝しています。132人の大合唱と105点のアート作品のコラボは圧巻でした。2014年日本政府が批准した障害者権利条約第30条2項は、「障害者が自己の利益のためだけでなく、社会を豊かにするためにも創造的、芸術的、知的な能力を発揮する」ことを求めていることを最近学びました。こげらコンサートのはじまりは、1979年のあさやけ支援コンサートでした。国が定める35年も前から実践してきた、小平を中心とする障害者の運動を誇らしく感じるコンサートでした。

（構成・演出／小林光）



## 今年も毎月の廃品回収にご協力ありがとうございました!

～年間の回収量は133トン(2016年12月～2017年11月)でした～

2017年資源回収回収量

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	合計
新聞紙	10,465	9,310	7,970	8,340	8,285	9,550	7,280	7,825	13,310	0	14,820	97,155
雑誌	3,050	2,720	1,950	2,570	3,310	2,780	2,420	1,870	3,970	0	3,880	28,520
段ボール	790	710	530	590	590	730	515	630	1,070	0	1,210	7,365
ウェス	75	20	35	40	25	15	60	80	50	0	50	450
合計	14,380	12,760	10,485	11,540	12,210	13,075	10,275	10,405	18,400	0	19,960	133,490

※10月は雨のため回収を中止にさせていただきました。年間回収量は2016年より8トンの減でした。

※廃品回収は、毎月第三土曜日(8月はお休み)に行っています。回収品目は新聞紙、ダンボール、雑誌、ウェスです。

## コダイラブランドの商品紹介

### 染め手織りウールマフラー

植物染料で染めた糸で手織りしたとても暖かいマフラーです。  
染料はログウッドとあかねです。

18 × 180cm 5000 円



あさやけ農の台作業所 042-346-2167 ブログ: <https://blogs.yahoo.co.jp/takanodaiasayake>

### 廃品回収のお知らせ

11月の廃品回収の回収量は19,960kgでした。内訳は新聞14,820kg、雑誌・ダンボール5,140kgです。収益は小平市の資源回収補助金も含めて336,400円でした。

**次回は1月20日(土)が回収日です。**

雨天の場合は中止とさせていただきます。